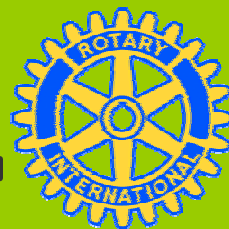


RI 第2820地区
土浦ロータリークラブ
創立 1958年2月14日
承認 1958年3月7日

RI 第3520地区
姉妹クラブ
台北陽明扶輪社



TSUCHIURA WEEKLY REPORT

会長 山本 和男 幹事 白田 八東

【URL】 <http://www.tuchiura-rc.org>

【E-mail】 office@tuchiura-rc.org

事務局：土浦市中央2-16-9（常陽銀行4F）【TEL】029-822-1250

【FAX】029-824-8830



チューリップの向こうに・・・

RI 会長

カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

2005年～2006年度 国際ロータリーのテーマ

超我の奉仕

RI（国際ロータリー）の創立：1905（明治38）

日本のロータリー創立：1920（大正9）

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

2005～2006年度

4月第4例会プログラム

4月27日（第2380回）

点鐘
ロータリーソング
ビジター紹介
幹事報告
委員会報告
会食
卓話

にこにこBOX
出席報告
点鐘
ロータリーソング

会長
四つのテスト
親睦活動委員会

「ゴールデンウィーク・初夏を迎えての最新旅行情報」
銭谷 茂 会員

S.A.A
出席委員会
会長
それどころロータリー（2）

格調高く、和やかに

例会場：ホテルロイヤルレイク土浦／例会日時：木曜日 12:30～13:30

VOL. 38

先週の例会報告

1. 阿見ロータリークラブより、10周年記念式典の開催にあたり実行委員の方々がご挨拶にお見えになりました。

【式典日程】

日 時：平成 18 年 6 月 4 日(日) 受付 10:30～ 式典 11:00～

場 所：国民宿舎 水郷



2. 新入会員卓話 山上 勝己 会員

皆さんこんにちは。今年 1 月に入会させて頂きました野村證券株土浦支店の山上勝己でございます。よそ者の若輩者にもかかわらず、いつも可愛がって頂き誠にありがとうございます。本日は初めての卓話ということで、自己紹介を兼ねて故郷の話と最後に少し株式市場について話してみたいと思います。どうぞよろしくをお願いします。

私は昭和 42 年に京都府舞鶴市に生まれ、高校を卒業するまで舞鶴で過ごしました。九州の大分県にも大分舞鶴というのがありますが、大分と付いているように元祖は京都の舞鶴です。日本海に面する風光明媚な町で鶴が羽を広げたような形をしているので舞鶴と言うそうです。

隣には日本三景の天の橋立もあります。その生まれ故郷の舞鶴にちなんだ話題を 2 つ紹介させていただきます。舞鶴を有名にしたのはまず何といっても皆さんよくご存知の「岸壁の母」の舞鶴です。太平洋戦争が終結し、ソ連による不法抑留から開放され、引揚船が帰ってきたのが舞鶴港なのです。その引揚船で帰ってくるはずの息子の帰りを待つ母親をマスコミが取り上げ、又、歌・映画として大流行し話題となったのです。で、その流行歌「岸壁の母」のモデルとなった人物が実際に存在するのを皆様ご存知でしょうか。

端野いせという名の女性で、明治 32 年石川県に生まれ、函館で青函連絡船乗組員である夫の端野清松、娘と暮らしていました。昭和 5 年頃夫と娘を相次いで亡くし、家主でもあった函館の資産家橋本家から新二という養子を貰って昭和 6 年に上京しました。実は「岸壁の母」の息子は本当の息子ではなく養子だったのです。終戦後彼女は東京の大森に居住しながら養子の息子、新二の生存と復員を信じて昭和 25 年 1 月のソ連ナホトカ港からの引揚船初入港から以後 6 年間、引揚船が入港する度に東京から汽車を乗り継ぎ 10 時間以上かけて舞鶴の岸壁に立ち続けたのです。昭和 29 年 9 月には厚生省が死亡理由認定書、昭和 31 年には東京都知事が息子さんは昭和 20 年 8 月 15 日牡丹江にて戦死との戦死告知書を発行したにもかかわらず、息子の生存を信じ続け昭和 56 年 7 月 1 日に享年 81 歳で亡くなられたのです。

ここでもう一つの真実、実は息子の新二さんは死んでいなかったのです。生きていたのです。ソ連軍の捕虜となりシベリア抑留、のちに満州に移され中国共産党八路軍に従軍、その後レントゲン技師助手として上海に今現在も居住しているそうです。しかも、新二さんは母が舞鶴で待っているということを知りながら帰ることもまた連絡することもしなかったのです。「何故、帰ってこないのか？」という問いかけに対して「自分は死んだことになっている。今更帰って、あれだけ有名になった母の顔を潰すことは出来ない」と語ったそうですが、真相は定かではありません。それにしても何故帰らなかったのか、複雑な親子関係、時代背景があるとはいえ、何とも解せない話だと思うのは私だけではないと思います。「岸壁の母」の美しい親子愛の裏には、こんな隠された信じたくもない悲しいエピソードもあったのです。

もう一つの話、それは「肉じゃが」です。ご存知の方も多いかもしれませんが、舞鶴は肉じゃが発祥の地としても有名です。日露戦争でロシアのバルチック艦隊を撃沈したあの有名な連合艦隊司令長官「東郷平八郎」が鎮守府長官として舞鶴に赴任していた時、肉じゃがを作らせたそうです。その当時、海軍では栄養失調になる者が多く、英国留学の経験から東郷はイギリスで食べた栄養価の高いビーフシチューを艦上食にと提案したそうです。しかし、当時の日本でワイン、バターはとても入手困難で、代わりに日本古来の調味料である醤油をベースにした「肉じゃが」が出来上がってしまったそうなんです。ちなみに広島県の呉市も昔、東郷平八郎が在任していたということで、我こそは肉じゃが発祥の地！と叫んでおり、舞鶴と呉で「肉じゃが戦



争」をやってるそうですが、私としてはどっちでもええやんと思っております。かつての日本を代表する軍港、舞鶴と呉で「肉じゃが戦争」とは、日本はなんとも平和な国になったものです。

以上、こんな舞鶴に高校卒業まで住み、その後大阪の大学に進学、野村證券に入社し、転勤 6 回目で土浦にやってきた次第でございます。

それでは次に本業である株式市場について少しだけ触れさせていただきます。非常に基礎的な話でそんなことはもう知っているよとお叱りを受けるかもしれませんが、重要なことなので確認の意味を込めてお話をさせていただきます。お配りしました資料に日経平均株価と TOPIX (東証株価指数) のチャートを載せておりますが、まず最初に日経平均と TOPIX の違いを簡単に説明致します。一般に平均株価が上がったという日経平均株価を指すことが多いのですが、日本全体の株価を表す指標としては日経平均より TOPIX の方が全体感を正確に表していると言えます。釈迦に説法かもしれませんが、日経平均株価は東証一部上場銘柄のうち日経新聞社が選ぶ 225 銘柄が対象の単純平均型です。計算方法は 225 銘柄を 50 円額面に換算して (NTT なら 5 万円額面なので 1/1000、50 万円なら 1/1000 で 500 円ということです。) 単純に合計してそれを除数 (現在 24.29 です) で割ります。除数とは株式分割などで株価の連続性が損なわれないように割り算の分母を調整する数字のことです。平均株価 1 万 7000 円と言いますが、1 万円以上の株価の会社ってそんなにあったっけ? と思われたことがあるかと思いますが、過去に分割を何回もしている企業は株価が低くても価値 (時価総額) は増えていますのでそれを反映するために使うのが除数なのです。例えば 1000 円の株価の会社が 1:2 の株式分割をして株価が 500 円になったとします。このままでは平均株価がおかしくなってしまうので 500 円を 0.5 という数字で割り算してやると 1000 円になります。この 0.5 が除数なのです。いずれにせよ、要は 225 銘柄の単純平均なのです。だから〇〇円と円で表示します。これに対して TOPIX (東証株価指数) は東証一部上場銘柄全て (現在約 1700 社) を対象とした時価総額方式の指数です。時価総額は株価 * 株数で表され、ある時点を 100 として現在いくらか、という指数型です。だから〇〇ポイントという呼び方をして日経平均のように〇〇円とは言いません。全銘柄の時価総額を対象にしているということで、日経平均より TOPIX の方が日本株式市場の全体を表しているといわれるのはこのためです。その意味から先ほどのチャートを見ていただくと日経平均は 2000 年の IT バブルの高値 2 万 833 円を超えていないどころか、1996 年の高値 2 万 2666 円も抜けていません。しかしながら、TOPIX で見ますと、先日 (4/6) 2000 年の IT バブル時の 1754.78 を抜け、1991 年 11/15 以来 14 年 5 ヶ月ぶりの水準まで戻ったのです。いわゆる戻り高値更新を達成したのです。これを強気のシグナルと見るかどうかですが、日経平均だけを見ているとまだ元祖バブル崩壊後のボックス圏を抜けていないということですが、東証一部全体ではバブル崩壊後のボックスをとうとう抜けた、ということで期待が高まっているわけなのです。バブル崩壊後の高値を抜けたということは、あとは 1989 年末のあの元祖バブルの高値 (日経平均で 3 万 8915 円、TOPIX で 2884 ポイント) が見えてくるということです。1990 年以降の下げが出来高の少ない中、強烈に早かったということで、上げに対しても期待が持てる、と言えるかもしれません。

相場は「人の行く裏に道あり花の山」というように少数意見が勝つことが多いです。みんなが上がる上がると言っている時は避け、みんなが弱気に傾いている時がチャンスだと思います。

最後に私は野村證券に入社し 18 年目となりますが、そこから学んだ座右の銘をご紹介して私の話を終わらせて頂きます。いつも相場が当たらずに悩みに悩んでいた自分を救ってくれた言葉です。「明日は明日の風が吹く」英語にすると「tomorrow never knows」です。誰も明日の相場のことは分かりません。だから面白いのです。ご静聴ありがとうございました。

3. 幹事報告

- ・水戸西 R C 例会場移転のお知らせ

6 月第 1 例会 (6/7) より京成百貨店 9F バンケットルームへ例会場を変更

○委嘱状授与 (米山奨学生へのカウンセラー委嘱) 渡辺 俊樹 会員

○米山功労者表彰 海老原 雄一 会員



○職業奉仕の話 ちょっといいはなし 大槻 利夫 会員

ピープル・ビジネスと言われる私共の仕事は、人と人、心と心の結びつきで成り立っていると思います。今年で創業 39 年になりますが、ここに至るまで多くの方との出会いがありました。そんな中で、この商売を続けてきて“良かったな”と思った事が幾つかあります。

平成 10 年・・・今から 8 年前の事です、ある日鹿島のお客様よりお手紙を頂戴いたしました。週に一度、病院（医大）に通院している方からのお便りでした。「片道 50km の道程は遠く然も行き先が病院ということで余計に気の重い事です。そんな中で近くの「回転寿司」で食事をする機会がありました久しぶりに美味しい寿司を食べ思わず嬉しくなりました。それ以後、病院が終わると必ず寄ってお寿司を食べて帰ります。今まで本当に気の重い 50km でしたがそれ以後あっという間の 50km という気持ちになりました。間もなく通院をする必要も無くなります。是非、鹿島にもお店を出店していただけないでしょうか？」

こんな内容のお手紙を頂いたとき、本当に嬉しく思い商売を続けてきて良かったと思いました。私共では、今年のスローガンを「BRAND 創り」ということを掲げました。ブランドとは、お客様から信頼されて初めて認められるものと思います。地域の中で「かね喜」という名が安心・本物を提供する店という代名詞になることを目標に努力していきたいと思っています。

日頃より従業員さんには、「御代を頂く代わりに商品に感動を、サービスに感動を」と言い続けております。

苦勞が耐えない毎日の中で、一人でも喜んでいただいているお客様がいたことに改めて気の引き締まる思いが致しました。地域の皆様にとって無くてはならないお店でありたい・・・そう願っています。

寄付金報告 米山奨学金

受付日	氏名	金額(円)	累計(円)
4/13	木村 芳弘	100,000	670,000
	計	100,000	

累計 7月～4/13 2,120,000 円(クラブ寄付含む)

来訪ロータリアン

飯塚 久之君・佐藤 勲君・鈴木 英世君(阿見)

にこにこBOX

4/20 59,000 円 累計 1,927,500 円

阿見 RC ～ 10 周年を迎えました。宜しくお祝い致します。

中桐君～財団寄付で地区表彰を受けました。

神林君～財団寄付、米山功勞者で地区表彰を受けました。

松浦君(泰)君～かすみがうらマラソンに初挑戦いたしました。

フルマラソンで 4 時間 48 分で完走できました。土浦のすばらしさが再確認できました。

山上君～卓話無事終わりました。ありがとうございました。

フルマラソンも棄権という最悪の事態は避けることが出来ました。

○山本会長～遅刻して申し訳ありません。

写真～○山本会長 沼田君 小野君 奥井君

お花見家族懇親会でそれぞれ景品が当たりました。

廣瀬君 銭谷君 菊池君 ○堀越君 ○倉持君 ○菊地君 ○小野君

メイクアップ

佐藤・岩瀬・坂本(史)・鈴木・円城寺・河合・堀越・磯・黒田・

小坂・鶴田・渡辺(俊)・山本(4/16 地区協議会)

出席報告

会員	欠席	出席	出席免除	出席率
69 名	12 名	57 名	12 名	78.95%

例会予告

5/4 休会

5/11 卓話「霞ヶ浦の現状について」県環境対策水環境室長 小関 雅志 氏

5/18 卓話「会社改正法について」河合 隆 会員

本日のメニュー

椀 わらび麺 葱 生姜
重箱弁当にて
ご飯 春の香りすし
湯葉 海老 かに身 ふき 筍
蕨 錦糸卵 すし生姜 木の芽
水菓子 ココナッツムースに苺添え



「しゃが」の花 Photo by Hirose